

**中学校教諭 1 種免許状（保健体育）をもとに高等学校教諭 1 種免許状（保健体育）を取得
（勤務経験 3 年以上 別表 8 を利用）**

★お勧めの入学区分：正科生【スポーツ身体表現専攻】（在籍大学等がある場合はご相談ください）

以下の区分にしたがって 12 単位以上の修得が必要

① 教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分		本学開設科目				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	科目名	単位数		区分	
			総単位	SC		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	体づくり運動	1	1(※)	▲
			器械運動	1	1(※)	▲
			陸上	1	1(※)	▲
			水泳	1	1(※)	▲
			サッカー	1	1(※)	▲
			バレーボール	1	1(※)	▲
			野球	1	1(※)	▲
			柔道	1	1(※)	▲
			ダンス	1	1(※)	▲
			バドミントン	1	1(※)	▲
			「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	スポーツ原理	2	0.5
	スポーツ心理学	2		0.5	▲	
	スポーツ経営管理論	2		0.5	▲	
	スポーツ社会学	2		0.5	▲	
	体育史	2		0	▲	
	運動学	2		0.5	▲	
	生理学（運動生理学を含む。）	生理学	2	0.5	▲	
		スポーツ生理学	2	0.5	▲	
		解剖学	2	0.5	▲	
	衛生学・公衆衛生学	衛生学	2	0.5	▲	
		公衆衛生学	2	0.5	▲	
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健概論	2	0.5	▲	
		救急処置法	2	1	▲	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	保健体育科指導法Ⅰ	2	1	必修	
		保健体育科指導法Ⅱ	2	1	必修	
		保健体育科指導法Ⅲ	2	1	▲	
		保健体育科指導法Ⅳ	2	1	▲	
	本学必修単位数合計 4 単位					

※体育実技 10 科目（「体づくり運動」～「バドミントン」）の SC 受講料は 1 単位=20,000 円となります。

② 教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分		本学開設科目			
科目区分	左項の各教科に含めることが必要な事項	科目名	単位数		区分
			総単位	SC	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理（中等）	2	0	▲
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論（中等）	2	0.5	▲
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営・学校安全論（中等）	2	0.5	▲
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学（中等）	2	0	▲
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	0.5	▲
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論（中等）	2	0.5	▲
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論・指導法（中等）	2	0.5	▲
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	0.5	▲
	特別活動の指導法	特別活動の指導法（中等）	1	0.5	▲
	教育の方法及び技術／情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）	2	0.5	▲
	生徒指導の理論及び方法／進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論（中等）	2	0.5	必修
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談（中等）	2	0.5	必修
本学必修単位数合計 4 単位					

③ 大学が独自に設定する科目

科目区分	本学開設科目			
	科目	単位数		区分
		総単位	SC	
大学が独自に設定する科目	生涯学習論	2	0	▲
	発達障害概論	2	1	▲
	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	0.5	▲
	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	0.5	▲
	ワーク・ライフ・バランス論	2	0	▲
	授業実践演習（中等）	2	0.5	▲
	アクティブラーニング演習	2	0.5	▲
	多様な生徒の支援演習	2	0.5	▲
	学校ボランティア（中等）Ⅰ	1	1	▲
	学校ボランティア（中等）Ⅱ	1	1	▲

④ 必修および「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「大学が独自に設定する科目」の▲科目より 4 単位以上修得すること。

（注）「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」は履修の順番を示し、例として「Ⅰ」を履修しないと「Ⅱ」を履修することはできません。（同時履修可）

学納金

＜2022年1月現在の学費＞

	項目	正科生	科目等履修生
①～③の 学費合計	授業料	60,000円	96,000円
	スクーリング受講料	30,000円～110,000円	30,000円～110,000円
	授業料・スクーリング受講料の合計 (別途以下の諸費用が必要)	90,000円～170,000円	126,000円～206,000円
学費以外 の諸費用	登録料(毎年必要)	5,000円	15,000円
	教職課程登録料	10,000円	10,000円
保険料、施 設利用料	1科目 5,000円×9科目	0～45,000円	0～45,000円
入学時 諸費用	入学検定料	10,000円	
	入学金	30,000円	

(注) 教材費(科目により異なります)が別途必要になります。

(注) 科目を再履修する場合には費用がかかります。

(注) 年間登録料の納入時にお振込みいただく1科目分の学費(正科生は10,000円、科目等履修生等は16,000円)は、当該年度の履修登録科目(初回)の1科目分の学費に充当されるため(一部対象外科目あり)、履修登録科目のスクーリング単位数(SC単位数)によっては学費負担が少なくなる場合があります。

◆ 1年間で単位修得が可能です。

*履修登録される前に必ず都道府県の教育委員会にご相談のうえ、勤務経験の有効性と必要科目をご確認ください。